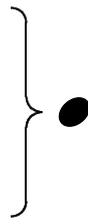


それはまるで幼子の様に

作詞 J'Soul (浅羽一)

あなたは時に純粋なまでに残酷で あなたは時に残酷なまでに純粋で
悲しみと喜びは背中合わせで眠りについた
透明な心は誰かの心を傷つけて 透明な心は誰かの心に傷ついて
ひび割れた欠片が ^{かけら} 世界の空に舞い星になる
私はそれに目を閉じ祈った…
止めどなく頬を伝うものが何なのか
私は怖くて閉じた ^{まぶた} 瞼に力を込めた
そうすればそれが止まると信じる様な
何も知らない幼子の様に
何も知らない幼子の様に…



淋しい夜は温もりを求め手を伸ばす 愛しい夜は安らぎを抱いて息を吐く
^{ゆる} 緩やかに変化する日々を数えて未来を待った
汚れ無き瞳は誰かの想いを貫いて 汚れ無き瞳は誰かの想いに貫かれ
溢れ出す痛みが 過去と重なり花を咲かせた
私はそれに目を閉じ願った…
髪の毛と同じ色をした花卉を
信じたくなくて閉じた瞼に力を込めた
そうすれば色が消えると信じる様な
何も知らない幼子の様に
何も知らない幼子の様に…



あなたと共に笑いたくて 私は幼子の姿を真似た
まね
だけど化粧はすぐに崩れて 私は幼子の仮面を被った
あなたと見つめ合いたくて 私は瞳に水晶を埋めた
限りなく透明で汚れ無き水晶を

●繰り返し

▲繰り返し

私はずっと目を閉じ続けた
そうすればあなたはそこにいると信じられる様な
何も知らない幼子の様に
何も知らない幼子になりたくて